

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
R208	教育相談 / 学校カウンセリング	2年	講義	2	杉山正明
授業概要 教育相談は、生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。また、生徒指導の一環として位置づけられるものであり、その中心的役割を担うものである。本講義では、事例、演習等をおして、教育相談の基本的な位置づけ、内容、方法等について理解を深め、基礎的知識を身に付ける。					
到達目標(学習の成果) 教育相談についての理解を深め、生徒理解や生徒支援の在り方についての基礎的知識を身に付ける。 ①教育相談に関する知識と基礎的な対処法を身に付ける。 ②生徒理解の方法や組織的な対応の重要性について理解する。					
授業計画					
回	表 題	学修内容			
1	教育相談とは	教育相談の意義、特質、課題、形態、連携			
2	教育相談の実際	教育相談の進め方、諸問題			
3	カウンセリングとは	理論、教師によるカウンセリング			
4	子どもの心の問題①	背景と概要			
5	子どもの心の問題②	代表的な疾患			
6	不登校の理解と対応	不登校の実態とタイプ、背景の多様化、不登校への対応			
7	いじめ問題の理解と対応	いじめの定義と実態、いじめ問題への対応			
8	非行・反社会的行動の理解と対応①	概要と実態			
9	非行・反社会的行動の理解と対応②	心理学的理解と対応			
10	発達障害の理解と対応①	発達障害の基本的視点、発達障害の概要			
11	発達障害の理解と対応②	発達障害への対応			
12	校内の協力体制と他機関との連携	校内協力体制及び他機関との連携の必要性と実際			
13	保護者に対する援助	家族関係と保護者の問題、保護者への対応			
14	児童生徒の多様性の理解と対応	事例理解の方法と援助			
15	開発的な教育相談	開発的な教育相談とは、ソーシャルスキル・トレーニング			

準備学修(授業外の自己学修)

- ・教育相談の動向について、教育雑誌、新聞、文科省HPなどで情報収集しておく。
- ・授業で取り扱った教育に関する用語については、関係の書籍等により理解を深めておく。

成績評価の方法・基準(%表記)

定期試験(100%)で評価する。

教科書

文部科学省『生徒指導提要』教育図書 (276 円＋税 春学期のうちに購入しておくこと)

参考書等

なし

履修上の注意・学修支援

積極的・主体的な態度で受講してください。